

おひさま スマイル

~No. 82~

令和1年11月 1日
新宿区立余丁町小学校
校長 古谷 勉
わかまつ学級担任 外丸 憲子



病院の木々も色を変えはじめました。「きれいな赤い色だね。」とうっとり。
3年児童 撮影



朝晩の気温が下がりはじめ、日中も気温の変化があり衣類の調整にも気を遣います。教室も夏のように暑かったり、冬のようにひんやりとしたり、日々子どもたちとお日様と相談しながら温度調節をしています。今月は転入児童が多く、一気に6人に増えました。異学年が一堂に会し、賑やかな学級です。それぞれの課題に取り組むことが多いですが、季節にまつわる内容やゲーム的要素を取り入れられる内容は、みんなで一緒に取り組むこともあります。また、上学年の学習を知ることが、これからの学習意欲に繋がることも多くあります。上学年の友達から「そこは、しっかりやっておいた方がいいよ！」と言われると説得力があります。これからもお互いがよい刺激になり、励まし合える時間を大切にしていきます。

本校では、学芸会に向けて練習が始まりました。わかまつ学級では掲示するプログラムの作成や道具づくりなどで関わりをもてるようにしています。実態に応じて参加の仕方も学年担任と相談しながら進めています。子どもたちが少しでも活躍できる場となる活動を取り入れています。

★秋の飾り★ ~紅葉を描こう~

国語で「秋のことば」や生活科・理科で「秋の生き物・植物」の学習をしました。図工では秋の紅葉を描きました。

筆では描きません。みんなの手に絵の具を乗せて、手の上がパレット！不織布にみんなの手で形きれいな秋色の風景の完成です。





★スクーリング★

本校となる余丁町小学校は、歩いて10分弱。必要に応じて、学校にスクーリングをし、活動の体験を行うこともあります。

クラスの友達はいつも温かく迎えてくれます。「今度いつ来られるの?」「また来るね!」自然に生まれる会話。

「校長先生!一緒にかけおくりをしてください!」と、国語で学習した「ちいちゃんのかげおくり」で知ったことを外で体験できるきっかけにもなりました。より主人公の気持ちに近付いたのか、ちょっと寂しくなったようです。

行き帰りの道中でも、きんもくせいの花を見つけて、においをかぎ、春とは違う蝶々の様子に気がきました。



★わかまつ子 いらっしゃい★

今月は誰が来るかな?

実は、毎月楽しみにしています。通院で来たときに、時間を縫って顔を見せに来てくれる子どもたち。授業中は、ゆっくり話をするのができなったり、学校がお休みに見えなかったりすることも多いです。それでも、ポストに手紙を入れてくれたり、「これだけは!」と一言話して帰ったり、本当にいつもありがとう!

みんなの姿は、今、わかまつ学級で頑張っている後輩たちの目標にもなっています☆



～お知らせ～

7日(木)は落語家の桂宮治さんが、落語体験授業に来て下さいます。是非、保護者の方もご参観下さい。

